

健保財政の健全化へ 皆さまのご協力をお願いいたします！

そこで…

組合員とご家族の皆さまにできる範囲で次のご協力をお願いします。

- ジェネリック医薬品を活用してみてください。(ご家庭のお薬代の節約にも繋がります。)
- 医療機関への受診・薬局での処方方は営業時間内に。(夜間や早朝、日曜・祝日などにかかる追加料金が付き割高になります。急病以外での深夜・休日受診は控えましょう。)
- 複数の医療機関へのはしご受診やコンビニ受診、今必要のないお薬(置き薬代わり)のお願いはやめましょう。

- 前年度(平成23年度)は継続的な事務的経費の節減、保健事業の大幅な見直しの実施で支出削減に取り組みました。
- しかし、平成24年度は高齢者のための国への納付金が前年度比6億5400万円の大幅な増となり健保財政を更に圧迫しています。
- 皆さまの医療関係費と国への納付金を合わせると保険料収入の126%と支出オーバーの状態です。

組合員1人当りの保険料と保険給付費・納付金支出



〈介護保険予算〉

皆さまから納付いただいた介護保険料は、国に指定された負担額を国庫に納めています。

納めた介護保険料は介護保険の運営者である全国の市区町村に配分され高齢者の介護の費用として使われています。

介護保険料率は、平成24年度から1.6%と0.2ポイントの引上げとなりました。

介護保険予算総額 3億2,500万円			
支 出		収 入	
介護保険納付額	3億2,000万円	介護保険料収入	3億500万円
その他支出	500万円	財産繰入(準備金)	2,000万円

平成24年度予算概要(各種基礎データ)

介護保険料率 = 1.6%	平成24年度適用状況		
事業主 = 0.8%	介護保険対象者	5,190人	
被保険者 = 0.8%	介護保険納付対象者	3,480人	
	平均標準報酬月額	355,000円	
	平均賞与額	670,000円	

平成24年度も健康保険組合は財政改善に向け以下の取組みに努めていきます!!

- ①事務的経費の節減
- ②組合員の皆さまの健康維持に繋がる保健事業の実施【将来の医療費増加予防対策】
(9ページをご参照ください)
- ③理事会・組合会での組合財政改善に対する十分な審議・検討【支出費用節減策等】
- ④医療費適正化への努力【被扶養者(ご家族)の加入適正化を図るための調査の実施、自動車保険(交通事故)・労災保険で支払うべき費用の回収、レセプトの内容審査による過剰診療費用の削減】
(16ページをご参照ください)
- ⑤医療費節減対策【ジェネリック医薬品活用促進のための情報提供、セルフケアのための医薬品の有償斡旋】
(9ページをご参照ください)

平成24年度予算が決まりました

平成24年度は14億7,300万円と過去最高の経常赤字予算に!!

第150回ダイハツ系連合健康保険組合会【3月5日(月)開催】において平成24年度予算が承認されました。

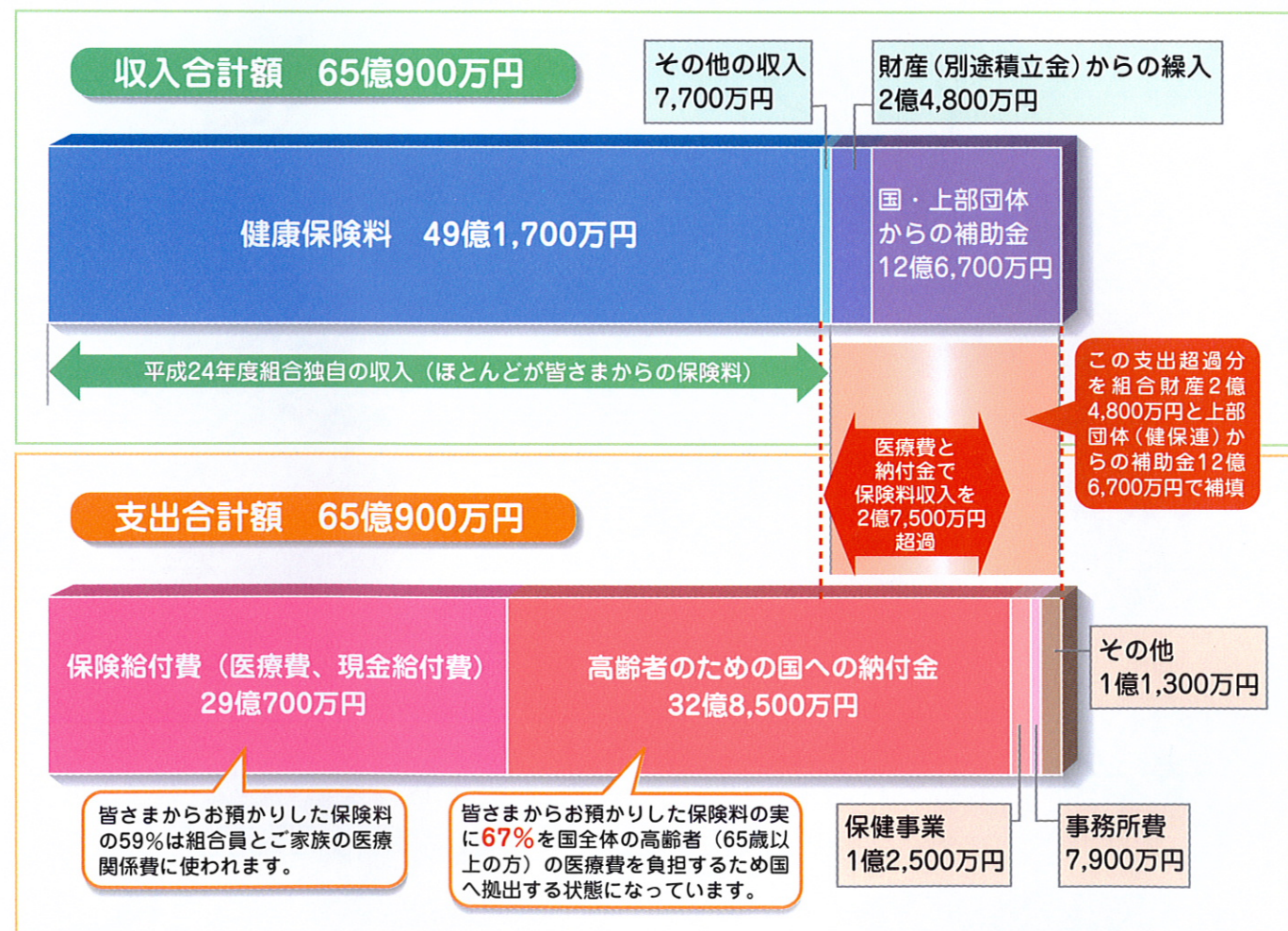
前年度(平成23年度)には、事業主・組合員の皆さまに健康保険料率の9.5%への改定(1.5ポイントもの引上げ)により厳しい経済状況の中、重いご負担をお願いしました。平成24年度は、各種財政施策を講じると共に、更なる自助努力を行い**9.5%の保険料率を維持**します。

しかし、継続的な医療費のアップに加え、高齢者のための国への納付金負担は更に大幅に増加し、健保財政は破綻の危機に直面しています。支出が収入を大きく上回り、大切な組合財産の繰入と上部団体(健保連)からの補助金により収支バランスをとる予算編成となり、経常収支では組合設立以来過去最高となる14億7,300万円もの巨額の経常赤字となりました。(全国の健保組合の約90%の組合が経常収支赤字であり、当組合同様の状況に苦しんでいます。)国の税と社会保障の一体改革が進まない限り今後も厳しい財政状況が続くことは間違いありません。

事業主の皆さま、組合員の皆さまにおかれましては、引き続き健保組合へのご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



〈健康保険予算〉



平成24年度予算概要 (各種基礎データ)

健康保険料率	= 9.5 %
事業主	= 5.12%
被保険者	= 4.38%

平成24年度適用状況

年間平均被保険者数	11,550人
平均年齢	36.98歳
平均標準報酬月額	301,320円
平均賞与額	517,000円